

平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	車両の環境対策		担当部局	自動車局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度		担当課室	環境政策課		課長 江角 直樹		
会計区分	自動車安全特別会計 (自動車検査登録勘定)		施策名	2(5)快適な道路環境等を創造する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	環境保全や温暖化防止の観点から、自動車の環境対策に必要な技術の評価手法及び基準策定を目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	自動車の排出ガス・騒音・燃費に関する環境対策に必要な技術の評価手法及び基準策定のための調査							
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	272	169	138	109	143	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	272	169	138	109	143	
		執行額	208	161	120			
	執行率(%)	76.6%	95.1%	87.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	平成32年度までに対策地域において二酸化窒素及び浮遊粒子状物質に係る大気環境基準を達成する。		成果実績	自排局(NO2)	92.0%	92.9%	-	100%
				自排局(SPM)	99.5%	100.0%	-	100%
活動指標及び活動実績 (アウトプット)				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	調査件数		活動実績 (当初見込み)	件	12	11	10 (10)	(9)
単位当たりコスト	12.0百万円(円/件)		算出根拠	調査研究1件あたりの必要コスト(関係予算120百万円、調査件数10件)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.07	0.07	24年度要求において調査項目を追加したため。				
	職員旅費	1	1					
	委員等旅費	0.08	0.07					
	庁費	83	71					
	自動車検査基準策定調査等委託費	25	70					
	計	109	143					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	[前回の指摘を踏まえた執行上の改善点]		
	事業の実施に際して、必要性・優先度の精査を行い、事業の見直しを行い経費の削減を図った。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善、		<p>昨年の指摘を踏まえた改善がなされており、今後も引き続き競争性のある契約方式を活用するなど実効性・効率性を高め、経費の合理化に努めるとともに、最終目標に結びつく成果を得るよう、事業を適切に選択し、実施すべき。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>実効性・効率性を高め、経費の合理化に努めているところであるが、24年度要求において調査項目を追加したことから増額要求となった。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p></p>			

国土交通本省
120百万円

〔事業の企画・立案、進捗管理・指導〕

〔一般競争入札・委託〕

A. (独)交通安全環境研究所
60百万円

〔一般競争入札・委託〕

B. (財)日本自動車研究所
47百万円

職員旅費
0.571百万円

委員等旅費
0.034百万円

事務費(本省)
13百万円

【地球温暖化対策・排出ガス対策関係】

- ・自動車排出ガスの世界統一基準を国内基準に導入するにあたって必要となる技術的調査、検討を行う
- ・使用過程車の排出ガス抜き取り試験(サーベイランス)を実施し、排出ガス性能を評価するとともに、排出ガス性能が悪化している車両については、その要因分析及び対策を検討を行う。
- ・電気駆動車両に搭載されたバッテリーの劣化特性を明らかにし、車両使用時の劣化実態や使用条件の違いによる劣化特性変化等の情報をユーザーに示すため、バッテリー劣化の評価手法の策定に向けた調査を行う。
- ・燃料電池自動車の世界統一基準の策定に向けて必要なデータの取得を行うもの。
- ・諸外国における次世代自動車の環境性能の評価方法及び公表方法の状況とともに、今後の我が国の自動車の環境性能の評価及び公表のあり方に関する調査を行う。
- ・環境負荷の低い小型車両が円滑に走行するために最低限必要な原動機の性能及び燃料消費率に関する調査を行う。

【騒音対策関係】

- ・登録性能等確認機関が性能の確認を行った交換用マフラーが、制度で定める性能を満たしているかについての確認を行い、市場に流通する交換用マフラーの性能及び品質実態を確認し、今後の自動車騒音基準の見直しの検討を行う。

【地球温暖化対策・排出ガス対策関係】

- ・エアコン使用時の各種設定条件が燃費へ及ぼす影響を定量的に評価する手法の策定に向けた調査を行う。
- ・これまでに国際的に合意が得られた方法に沿って必要なデータ解析をおこないWLTPLサイクル案を検討する。
- ・複数の低燃費運転支援装置(以下「支援装置」)についてドライバーの低燃費運転への効果、あるべき支援装置の仕様等を検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)

A. (独)交通安全環境研究所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	排出ガス試験経費、騒音試験経費、試験車両借料、試験エンジン設置作業経費、インピーダンス計測装置経費	46			
諸経費	一般管理経費、消費税	9			
旅費	職員旅費	5			
計		60	計		0
B. (財)日本自動車研究所			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	業務担当者人件費	29			
諸経費	一般管理経費、消費税	10			
事業費	排出ガス試験経費、排出ガス試験車両借料、燃費改善効果解析経費	7			
その他	委員会開催経費(謝金、委員等旅費)、職員旅費、通信費、印刷製本費等	1			
計		47	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)交通安全環境研究所	地球温暖化対策・排出ガス対策関係・騒音対策関係	60		
2	(財)日本自動車研究所	地球温暖化対策・排出ガス対策関係	47		
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					